

有 陰 德 者 必 享 其 榮

(校名の由来額)



(細江利夫会長)

# 享栄会報

平成30年1月吉日  
第44号

名古屋市瑞穂区  
汐路町1-26

享栄同窓会事務局  
052-841-8151

## 次回総会及び懇親会のご案内

平成30年度

享栄同窓会総会・懇親会を次の通り開催する予定です。  
会員誘い合わせて是非ご参加ください。

一、日時 平成30年5月19日(土)

二、時間 午後5時～午後8時

三、場所 ローズコートホテル

四、会費 三、〇〇〇円

五、議題 一.平成29年度事業報告

二.平成29年度収支決算報告

三.役員改選

四.平成30年度事業計画(案)

五.平成30年度収支予算(案)

六.その他

### 追記

①準備の都合もありますので、  
出席される方は平成30年4月末日までに  
事務局へご連絡ください。

②本会報ご入用の方は  
事務局までご連絡ください。  
即日送ります。





# 宇宙センター 研修会

享栄同窓会会長

細江 利夫  
(昭和40年卒)

同窓会の皆様には各分野での活躍の事とお喜び申し上げます。又日頃よりご指導、御協力いただきまして誠に有難うございます。さて私事ではありますが、機会があつて今年七月種子島宇宙センターへ行って参りました。

ロケット打ち上げの瞬間をテレビで見ている際に、一度は打ち上げの瞬間を生で見たいと思つておりました。そして、発射場を見学し

て少しでも身近に触れたいと思つていました。また、職員の方より大変貴重な話をさせていただき、さらに打ち上げの瞬間を間近で見学したいという気持ちが強くなりました。

長年の研究成果もあり、現在では打ち上げの失敗はないそうです。日本の衛星で精度も一段と優れており、私たちの生活もこの衛星からの通信により、非常に便利

になった事を痛感した次第です。さて本校の生徒の皆様におかれましては部活動等の努力をされ夏の大会には存分に力を発揮されたことと存じます。

益々の活躍と更なる飛躍を期待しております。最後にになりましたが、同窓生の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。



# 同窓会の みなさまへ

愛知享栄学園理事長  
享栄高等学校校長

長谷川 信孝

同窓会の皆さまには、日頃本校の教育に理解と協力いただき誠にありがとうございます。

五月に行われた総会には、昨年に引き続き多くの会員の皆さまが参加され私も教職員一同久しぶりそれぞれ卒業生と昔話ができ楽しい一時を過ごしました。また、今年の総会は例年になくこの数年の卒業生が多く参加し和やかな非常に良い雰囲気でした。今後、同窓会の執行部が、若い卒業生たちが多く参加できるように総会を企画運営するよう期待します。

さて、本校は三科八コース(普通科：特進躍進、栄進文理の三コース、商業科：メディア総合デザイン、総合ビジネスの

三コース、機械科：マイスター・タイテイルの二コースあり)、全学年五十三クラス(学年十八クラス、二年十八クラス、三年十七クラス、二〇〇二名(五月一日現在)の超マンモス学校であります。

以前は問題生徒が多く学校生活を続けることができず、中途退学者が多く出てしまひ、ある年は、二年間で、テタの後半から3ケタの前半の生徒数が学校を去つて行った時代があり残念ながら享栄は、問題は多くて退学者の多い学校と言われておりました。

この現状を踏まえ全教職員がもう一度原点に立ち「教育目標の基本理念である「教師が変われば生徒が変わる、生徒が変われば学校が変わる」を基にし

て、生徒一人ひとりを大切に「教育」を地道に努力して来た結果、中学校や地域住民から評価を受け、より良い受験生の増加に繋がり、学校全体が本当に落ち着きのある学校となり、それと同時に生徒数の増加となりました。

同窓会のみなさま、現在の学校がどのような雰囲気や授業をしているのか是非見学をしてみてください。学校の変わりようにご驚かれることと思います。

最後に、本校の教育の目標は「丁寧な教育」を掲げております。教職員同力を合わせて、今後とも地域や中学校或いは他の多くの人たちから評価をされる学校を目指し日々努力していく所存であります。同窓会の皆様においても、本校の学校教育に「協力をお願いいたします。



# 教育実習を 終えて

佐野 翔哉 (平成26年卒)

五月二十日から二週間教育実習生として母校である享栄高等学校でお世話になりました。卒業してから四年という年月が経っていました。校門をくぐり校長先生はじめ各先生方、教室などを見ると、高校時代の楽しかったことや苦しかったことの懐かしい思い出が氣に蘇りました。

今回の教育実習では、前川進也先生のクラスを担当させていただきました。担当クラスは、二年一組の前川先生のクラスを担当させていただきました。クラスで自己紹介をさせてもらった時、自分は今まで何事も教わる側の立場でありましたが、今は教員として、教える立場に立ち、責任のある立場であると感じ、不安な気持ちになりました。教育実習中は、指導教師及び教科指導は前川進也先生が引き受けて下さいました。担当クラスと他クラスでは、クラスの雰囲気の違い、生徒との接し方に関しては、どうやって接するべきかとても悩みました。しかし、生徒たちは、声を掛けてくれたおかげで多少は和らぐことができました。生徒との関わり方は、未経験であつたので、戸惑いもありました。

数学科の授業を中心にあくさんの先生方の授業を観察させていただきました。また、数回ショートタイムをやらせてもらいました。しかし、連絡事項をつずるにしても生徒が分かっているのか、理解しているのか不安になりました。人に何かを伝えるのは難しいことであると改め

て実感しました。授業実習も始まりました。しかし、教壇に立つと自分が説明したいことをうまく説明できなかったり、板書もうまく書けないなど思うように授業ができませんでした。ですが、前川先生、香田先生、鈴木健悟先生、杉浦先生を始め、数学科の先生方や他教科の先生方、数多くの先生方のご指導のおかげで、授業のやり方や教員として自分はどうあるべきなのかという事を学ばせて頂きました。また教師は知識と技術の両方が必要であることを気付きました。知識がたくさん持っていても説明が良くなつたら生徒は理解できません。反対に技術があつても知識を持っていないから説明ができないからです。教師は知識が必要であり、役者でなければいけないという意味を身をもって感じ理解することができました。教員実習では、授業の他に映画鑑賞会や街美ボランティアの参加をさせて頂きました。非常に貴重な経験をさせて頂くことができました。

今回の教育実習で教員としての厳しさ、大変さを知ることができました。また、社会人としての厳しさ、責任も知ることができ、自分自身をみつめ直すきっかけとなりました。最後に、前川先生や数学科の先生はじめ享栄高等学校の先生方の素晴らしい指導のおかげで、この二週間本当に貴重な経験をさせて頂くことができました。短い間でしたが、ありがとうございました。





# 教育実習を振り返り

佐野 杏樹  
(平成26年卒)

五月二十二日から六月九日まで三週間、母校である享栄高等学校で教育実習としてお世話になりました。以前私が学んでいた特進コースの建物はなくなっていました。校舎に入ると懐かしい気持ちが高校時代にお世話になった先生方が親しげにお声を掛けて下さったことに嬉しさを感じて緊張していたものは少し和らぎました。

教育実習期間中は、大島先生が指導教諭を引き受けて下さり、大島先生が担任をしていらつしやる三年四組にお邪魔させて頂きました。初めて教壇に立ち、最初に生徒へ自己紹介をした時は、長谷

川校長先生の「教育実習生であっても生徒にとっては先生である。」というお言葉を思い出してとても身の引き締まる思いがしたのを覚えていいます。

最初の二週間は理科の先生方の授業や、以前自分が授業を受けていた先生方の授業に観察実習に伺いました。授業内における生徒への指示の出し方や関わり方、説明や板書の書き方など、自分が生徒であったときには気にも留めていなかった先生方の対応や工夫に、教育実習生という新しい視点を得ることで気付くことができました。二週間の最後には、先生に手伝って頂

きながらも授業実習をさせて頂き、生徒と関わる時間を多く与えて頂きました。

二週目には観察実習だけでなく、本格的に授業が始まっていき、実際に自身で授業を計画しました。実際に自身で授業を計画し、授業展開、生徒との関わり方などの難しさを痛感しました。物事を説明するには知識があることが最低限の条件になってきますがそれ以上に、伝えたい物事に関連した知識や伝えていくための話術、その生徒やクラスの状態、雰囲気に対応していけるコミュニケーション能力など様々な能力の必要

性を授業実習を通して学びました。また、自分が教壇に立つて授業をすることで、観察実習で得られるものがより深いものになり、先生方のアドバイスもあつて授業実習をより良い体験にすることができました。実習期間中には映画鑑賞会や地域の清掃活動などもあり、大学で行った模擬授業や大学の講義では体験することのできない集団時の指導方法も拝見することができて貴重な体験をさせて頂きました。

この三週間の教育実習で感じ、学んだのは、教員に必要なのは知識の量はもちろん、常に学ぼうとする姿勢や自分の伝えたいことを伝えられる話術、生徒や状況に合わせ柔軟に対応できる力、状況を判断するための観察力などとても多くの力が必要であるということです。そして、これらの力は教員に限らず、社会人としてこれから世

の中に出ていくためにも重要であると感じ、教育実習という貴重な体験ができて本当に良かったと思います。

以前は生徒として、今回は教育実習として先生方にはお忙しい中大変お世話になりました。時間の少ない中でも丁寧にご指導頂き、人間としても成長できる機会を頂いたことに感謝しています。三週間という短い期間でしたが、ご指導頂いた先生方や関わってくれた生徒の皆さんに心からお礼を申し上げます。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。



# 教育実習を振り返り

山本美結菜  
(平成26年卒)

私は五月二十二日から六月九日の三週間教育実習生として母校である享栄高等学校でお世話になりました。卒業して四年の月日が立ち、久々に母校に戻った時は高校時代の色々な思い出がよみがえり、懐かしい気持ちになりました。

今回の教育実習では指導教諭を担当して下さった宮本先生のクラスで現代社会を、野球部の顧問の上野先生のクラスで世界史を

担当させて頂いていただきました。教育実習を始めて今まで教わる立場だった私が今回は教壇に立ち教える立場であるのを実感しました。

最初の二週間は社会科の先生方の授業を観察させて頂いたり、またショートタイムを担当させて頂いていただきました。しかし、連絡事項や今日の一言の話にも緊張してしまい生徒の顔を見ながら大きな声で話すことができませんでした。

二週目と三週目では授業実習を行ったり、他の教育実習生の授業を見に行ったりしました。授業実習は普通科の三年三組、商業科の三年八組と三年十組、スポーツ特進科の三年五組の四クラスを担当させて頂いていただきました。各クラスごとに雰囲気や授業に対する態度が違い、生徒の接し方や授業の方法など、どう接するべきか悩みました。また、いざ自分が教壇に立つ

て教える時に教えたい事を上手に説明できなかつたり、板書が小さかつたり汚かつたり、声が小さかつたり自分で思うような授業が出来ませんでした。現在、在学している大学で模擬授業を行う機会があったのですが、どうにも練習通りに行かず練習と違うという難しさを痛感しました。ですが指導教諭である宮本先生をはじめ上野先生等の各先生方にもたくさんアドバイスをいただくことができました。そのおかげで最初におこなった授業よりは少しは良くなったと思います。また、今回の教育実習では授業の他に土曜日におこなわれた街美ボランティアの参加や映画鑑賞会などがあり、たくさん

の生徒と関わる事ができて貴重な体験をさせて頂きました。

今回の三週間の教育実習を終えて教師としての仕事の大変さがわかりました。自分がどのような教師になりたいかを見つめなおすよい機会になったと思います。

お忙しい中、夜遅くまでいっしょに残って授業作りを指導して下さった指導教諭の宮本先生をはじめとする享栄高等学校の各先生方のご指導や生徒の皆様方のおかげでも貴重な体験をさせて頂きました。三週間本当にありがとうございました。



## 享栄高等学校の近況報告

### 1. 管理職

理事長校長	長谷川信孝	学園長	鈴木文悟	学 監	浅井富士雄	管理部長	山田憲彦
副校長	村松利之	教 頭	尼子理志	教 頭	鈴木良隆	事務部長	坂野勝彦
教頭補佐	川合政幸						

### 2. 教職員数

教 職 員	非 常 勤	合 計
119	37	156

### 3. 在籍生徒数

	1 学 年	2 学 年	3 学 年	全 体
男 子	474	525	419	1418
女 子	219	200	169	588
合 計	693	725	588	2006

### 4. 校訓

「誠実で信頼される人に」(建学の精神)

### 5. 基本理念

「教師が変われば生徒が変わる。生徒が変われば学校が変わる」を基にして、生徒一人ひとりを大切にし、自己実現を図ることができる教育

### 6. 目指す学校像

「面倒見の良い学校」

- きめ細かく丁寧な教育をする学校
- 夢と感動のある学校
- 地域に評価される学校

### 7. 平成28年度 卒業生の進路結果(563名卒業)

	卒業	大学	短大	専門	就職	その他	主な大学名: 愛知県立大学・日本大学・東洋大学・亜細亜大学・帝京大学・同志社女子大学・近畿大学・大阪体育大学・愛知大学・中京大学・名城大学・愛知学院大学・金城学院大学・名古屋外国語大学・愛知淑徳大学・椋山女学園大学・愛知工業大学・中部大学・大同大学・名古屋学院大学・名古屋学芸大学・東海学園大学・日本福祉大学 他 主な就職先: トヨタ自動車(株)・トヨタ車体(株)・(株)アドヴィックス・アイシンエイダブリュ(株)・愛三工業(株)・住友ゴム工業(株)・東海マツタ販売(株)・いすゞ自動車東海北陸(株)・敷島製パン(株)・フジパルグループ本社(株)・文化シャッターサービス(株)・(株)フィールコーポレーション(株)札幌かに本家(株)エディオン(株)三越伊勢丹ヒューマンソリューションズ日本郵便(株)東海支社・宗教法人津島神社・自衛隊 他
普通科	192	108	6	48	26	4※1	
商業科	216	27	4	56	124	5※2	
機械科	155	16	3	29	107	0	
合 計	563	151	13	133	257	9	

※1 ポリビア・NUR大学1名 進学浪人3名 ※2 家事従事者4名 進学浪人1名

### 8. 平成28年度 部活動・個人の活躍

硬式野球部	愛知県春季高等学校野球大会	優勝
ボクシング部	全国高等学校総合体育大会・岩手国民体育大会	ウエルター級 準優勝 石灘隆哉
	全国高等学校選抜大会	ミドル級 第3位 川村英吉
ソフトテニス部	東海高等学校選抜大会	ベスト8 加藤圭悟・藤原勇希 組
	ハイスクール・ジャパンカップ県予選	優勝 加藤圭悟・藤原勇希 組(6月札幌での本大会出場)

### 9. 平成29年度の主な学校行事

月	行 事
4	7日 入学式 10日 始業式 11~21日 個人面談指導 15日 学級懇談会 12~14日 1年生野外合宿 19~21日 特進合宿 24~26日 躍進合宿
5	15~18日 中間試験 20日 土曜セミナー・PTA総会・同総会総会 29日 映画鑑賞会 22~6/9日 教育実習 29~6/19日 研究授業週間
6	1日 創立記念日 3日 清掃ボランティア 17日 土曜セミナー 10~7/15日 特進海外研修(ケアンズ) 26~30日 期末試験
7	1日 求人受付開始 3~10日 躍進海外(ケアンズ)研修 10日 球技大会 20日 終業式 21~25日 保護者会 24~27日 特進躍進学習合宿
8	1日 全校出校日 2日 第1回体験入学会 21日 全校出校日 22日 第2回体験入学会 28~9/5日 メディアコース北海道研修・修学旅行
9	1日 始業式 4日 第1回防災訓練 5~9日 北海道修学旅行 16日 就職試験開始・土曜セミナー 26~27日 文化祭
10	3日 体育祭 17~20日 中間試験 21日 土曜セミナー 28日 第1回学校説明会 30~11/10日 研究授業週間
11	4日 第2回学校説明会 11日 第3回学校説明会 14・15日 演劇鑑賞会 18日 第4回学校説明会 25日 第5回学校説明会 27~12/1日 期末試験
12	2日 第6回学校説明会 3~6日 スポーツコース修学旅行(グアム) 19~21日 保護者会 22日 終業式
1	9日 始業式 13~14日 センター試験 16~19日 卒業試験
2	1日 推薦入試 7日 一般入試 14日 予餞会 17日 土曜セミナー 22日 卒業式 26~3/2日 学年末試験
3	6日 第2回防災訓練 19日 終業式 23日 新入生登校日



# 部活動だより

## 硬式野球部

【部 長】細川 将功



【監 督】柴垣 旭延



【副部長】彦坂 明人



上野 文也



【コーチ】野地 雄次



遠藤 豪



杉本 力也



宮下 雄太



卒業生の皆様には、平素よりご支援ご協力を賜り有難うございます。

本年度の顧問は、監督…柴垣旭延をはじめ、部長…細川(商業)・副部長…彦坂(体育)・上野(社会)・コーチ…野地(体育)・遠藤(体育)・杉本(社会)・外部コーチ…小川宗直、そして本年度よりコーチとして宮下(体育)を加え計九名の顧問団で選手をサポートしていく体制になりました。部員は三年生二十六名、二年生二十三名、一年生二十七名の合計七十六名です。



本年度よりコーチに就任しました宮下は、三重高校を卒業後、中央大学で内野手として活躍。若さを前面に出し、選手と一緒に走り、声を出し練習に活気を与え、時には冷静に物事を判断し、選手たちの的確なアドバイスを与えてくれています。

さて、夏季大会におきましては大変暑い中、多くの卒業生の方々の応援を頂きまして誠にありがとうございました。今大会は、ベスト十六まで勝ち進みましたが、残念ながら愛知高校に三―六で力及ばず敗退致しました。秋季大会四位、春季大会一回戦敗退と悔しい公式戦が続く選手達も「夏こそは」と気持ちが高まっています。【チビっ子火の玉軍団】と命名されたこのチーム。三年生が中心となり順調に成長してきていたチームですので、ベスト十六という

結果は非常に残念でなりません。柴垣監督と共に、チーム丸となり古豪復活へ力を入れてやっていますが、今の愛知県ではそう簡単に勝たせてはくれません。しかしながらあきらめず、希望をもち、「強い享栄」を目指し、今後も精進していく所存です。

新チームは七月二十四日よりスタート致しました。二年生には三年生の思いを背負い、きつと良い結果を出してくれると期待しています。現在チーム内では、激しい競争が繰り広げられています。今後とも応援よろしくお願い致します。

### 「走姿顕心(そうしけんしん)」 第六十九回愛知県高等学校 野球選手権大会

平成二十八年九月十七日(春日井市民球場)	成 章	1001000022	6		
(二回戦)	享 栄	010000001	2		
平成二十八年九月二十四日(小牧市民球場)	三(三回戦)	1060000000	7		
享 栄	102100000	4			
平成二十八年九月二十五日(熱田球場)	(準々決勝)七回コールド	東 浦	10001000	2	
享 栄	0000225	9			
平成二十八年十月十日(小牧市民球場)	(準決勝)	享 栄	100000600	7	
享 栄	21141000	9			
平成二十八年十月二十日(小牧市民球場)	(三位決定戦)	享 栄	000011000	2	
至学館	000001101	3			
第六十七回愛知県高等学校 優勝野球大会	平成二十九年四月十五日(熱田球場)	(一回戦)	享 栄	010011010	4
菊 華	000102000	3			
平成二十九年四月十六日(蒲郡球場)	(二回戦)				

愛産大 300020000 5  
享 栄 000020000 2  
第九十九回全国高等学校  
野球選手権愛知大会

平成二十九年七月二日(宮球場)	(一回戦)	起工業	000000000	0
享 栄	013000000	4		
平成二十九年七月九日(豊橋市民球場)	(二回戦)五回コールド	加茂丘	00000	0
享 栄	71002	10		
平成二十九年七月十六日(阿久比球場)	(三回戦)五回コールド	三好	04010	5
享 栄	14515	16		
平成二十九年七月二十日(岡崎市民球場)	(四回戦)	享 栄	000110000	2
豊川工業	100000000	1		
平成二十九年七月二十三日(刈谷球場)	(五回戦)	愛 知	150000000	6
享 栄	010100010	3		

## 軟式野球部

【部 長】尾俣 治義



【監 督】松山 直樹



【コーチ】蔭地野由晃



谷出 基貴



成田 良樹



軟式野球部は現在十六人の部員で活動しています。専用のグラウンドが無い為に毎日マイクロボスで移動し色々なグラウンドで練習をし



ております。夏場こそ長く練習時間を持てますが、その他の時期はグラウンドまでの移動に時間を要し短時間しか練習できないのが実状です。春休みには遠征をして他校との練習試合を組むことにより練習場所の確保と技術の向上を目指しております。

ジブシーの様にグラウンドを転々として本当に大変な思いをしております。今年の全国大会につながる県予選では惜しくも二回戦敗退で東海大会出場を逃しました。新チームで挑む私学祭では優勝することができ、新人戦では県大会出場が決まり、日々、力がついていっていると感じています。

試合の勝敗だけが指導ではなく「挨拶と礼儀」を重んじた「心の人間形成」の指導もあり、後者では他校に負けないチーム作りをしていると自負しております。未熟なチームではありますが、最終の目標は全国大会に出場することであり、その目標に向かって頑張っていきます。どうか同総会の皆様もよろしくご支援の程お願い申し上げます。

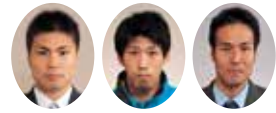


ボクシング部

【顧問】中島 邦晴

岡本 泰典

内山 雄平



享栄高校として十年連続インターハイ出場をかけた年でしたが惜しくもインターハイへ行くことはできませんでした。

今年度は三年生が三名と二年生十名で愛知県予選に挑みました。二年生のほとんどがデビュー戦ということもあり、なかなか勝ち進むことができませんでした。そんな中、二年の金本三年のキャプテンの村瀬、昨年度の全国選抜大会で三位の三年の川村は激しい試合もありました。F級の村瀬は優勝候補の選手と準決勝で当たり五分以上の戦いをしましたが、判定で敗れ二位、LW級の金本は全国への切符を掛けた決勝戦まで進みましたが、激しい打ち合いの中、相手の方が一枚上手で準優勝となりました。副キャプテンの川村は相手を寄せつけることなく、力の差を見せつけるような形で県大会を制することができました。しかし、高校ボクシングでは重量級の川村は次の東海大会を勝ち進まないといインターハイに行くことはできなくなっています。今回愛知県大会は優勝者一名、準優勝一名、三位二名という結果になりました。

東海大会では二回戦で岐阜卓の選手と当たりました。手数が多い選手に対し、的確にパンチを打ち込む川村。中盤川村のボディブローが当たり相手の勢いが衰える二面も

ありました。私たちは川村の勝ちを確信していましたが、二対一の判定で敗れてしまいました。インターハイに行くことは出来ませんでした。だがこの敗戦で学ぶことは多く、彼を更に飛躍させる戦いになったと思います。

今年度は三年生三人、二年生十二人、一年生九人の計二十四人で活動していました。三年生はキャプテンを中心に少ない人数で良くまとめてくれたと思います。今回のインターハイの県予選では多くの選手が自分の望む結果を出すことができませんでした。その分悔しさや自分の足りなかつたものは何だったのかという反省点など得るものは大きかつたと思います。試合以降練習の雰囲気も変わり、緊張感がこちらにも伝わってくるようになりました。その結果、七月に行われた国民体育大会愛知県選考会では、多くの選手が以前より成長した姿を見せました。結果も三年の川村の優勝だけでなく、準優勝で橋本、安達、松本、村瀬、三位に王、金本と多くの選手が入賞することができました。そして八月愛媛国体東海ブロック大会ではM級で川村が愛知県代表として優勝をし、十月に愛媛県で行われる国民体育大会の出場が決まりました。

今年度は二年生は先輩に追い付くことと、一年生は同期・後輩に負けないうようにと全国大会出場を目指して練習に励んでいます。それぞれ、怪我をすることなく悔いのない練習をして大会に臨んで欲しいと思います。今後ともご声援よろしくお願ひします。



ソフトテニス部 (男子・女子)

【顧問】中川 孝浩

鈴木 直也

近藤 主税

石田 和裕

加藤 祐介



ソフトテニス部は現在、男子四十名(二年生十二名、一年生十四名、二年生十六名、女子十一名)の総勢五十三名で活動しています。今年も年生が多人数入りし、人数が増えた中で全員丸となり切磋琢磨しながら毎日の練習に取り組んでいます。

今年度は男子は藤原・加藤ペアがハイスケールジャパンカップ二〇一七に出場しました。また、愛知県総合体育大会では男子団体の部はベスト8、個人の部では藤原・加藤ペアが五位に入賞し、全国高等学校総合体育大会へ出場しました。さらに、同ペアは国民体育大会愛知県代表選考会で活躍し、愛知県の国体選手に選ばれました。

新チームになつてからも、名南支部の学年別大会で男子二年生の部で神谷到・森本ペア、横井・小林ペアがベスト4、男子一年生の部で神谷優・三井ペアが準優勝という合宿、県外遠征の他、ソフトテニス部の韓国遠征を行いました。ソフトテニスを通じて海外の学生と交流を深めました。また、技術だけでなく練習の取り組み方や考え方について様々な良い刺激を受けました。今後も日々の練習を通して仲間の存在の大切さ、努力



することの大切さを学び、多くの人がよって支えてもらいテニスができるということに感謝し、二層練習に取り組んでいきたいと思つています。テニスの技術だけでなく人として大きく成長できるように今後とも頑張つていきますのでよろしくお願ひします。

陸上部

【顧問】杉山 貴史

島田 莉子







享栄高校陸上部は、十名の部員で活動をしています。毎日の練習を通して、人間的成長と競技力の向上を目的として活動を行っています。また日頃から一秒にこだわりの走り意識をしています。大会で自己記録を更新するために、走る事だけでなく、学校生活を大切に過ごす事を心掛けています。具体的には挨拶をしつかりとする事や勉強に一生懸命取り組む事、どんな人に対しても感謝の気持ちを持つて接することです。又、部の活動として取り組んでいる事があります。それは、学校の食堂掃除です。毎日昼休みに行っていきます。陸上競技とは関係ない事かもしれませんが、全員で一つの事に取り組みする事によってチームワークを高める事、奉仕の心、感謝の気持ちを培う事が出来ます。競技力の向上と精神力を強くする事を大切にして今後活動していきます。



バレーボール部(男子)

【顧問】小澤 大輔

神谷 修平

高柳 一裕



今年度、二年生七名に加え二年生二十名が入部しました。昨年度より、活気のある部活になりました。

普段の練習においては、未経験者が多く入部したこともあり、二年生も含め基礎となる土台を堅めるため基礎練習を中心にフォームを一つ一つ確認しながら進めていきました。又、大きな目標として大会優勝を掲げると同時に、人間性の育成にも力を入れています。

現状として、一回戦ないし、二回戦敗退と結果を残すことが出来ずにいるので練習量や練習試合等を増やし、二つの練習に目標を持たせることで技術の向上を計りたいと思います。

色々な方からの支援の元、良い環境で練習を行うことができていくという事を胸に日々の練習に励みたいと思っておりますので今後共、よろしくお願致します。

バレーボール部(女子)

【顧問】小澤 大輔

鈴木 健悟

上野 勇樹



女子バレーボール部は、一日一日を大切にしながら誇りを持って活動しています。平日は基礎練習を中心に、体力トレーニングなども行っています。土曜日や夏休みなどには、他校との練習試合を行っており、試合経験を積む中で力をつけてきました。

「公式戦で二勝する。」という昨年までの目標は、昨年秋季に達成する事ができました。少ない人数の中でも、仲間同士支え合いながら辛い練習も乗り越え、勝利につなげる事ができました。

現在、二年生八名を迎え入れ、十五人で次の目標へ向かって進んでいます。次の目標は「県大会出場」。決して簡単な目標ではありませんが、部員全員が自分達を信じて、一生懸命に練習に励んでいます。そして今後も、元氣よく、全力プレーで力をつけ、前に進んでいきたいと思っております。



サッカー部

【顧問】永田 伸輔

千田 昇

井口 琢麻

服部 慎司



サッカー部の活動について  
今年度のサッカー部は二年生から三年生まで合計九十名を超す部員で活動をしています。天白にあるグラウンドと瑞穂のグラウンドの二か所に分かれて活動することが主になります。

教員はサッカー専門で活躍してきた四名で見えます。一年生は学年単位で活動しますが、二、三年生はTOPチームと2ndチームに分かれ活動しています。

年間を通じてのリーグ戦はTOPチームは原リーグを目指し、また2ndチームは上位リーグ昇格目指して頑張っています。

今年度は初めてインターハイ県大会進出を決めました。目標のBEST16には手が届かず敗退してしまいました。選手権で目標達成できるように日々努力をしていきたいです。

また、年もルーキーリーグ(名古屋市内私立立高校一年生リーグ大会)に参加して今後の成長につなげようとしています。

各カテゴリーごと目標を持ち日々の厳しいトレーニングに臨んでいます。

しかし、トーナメント戦では別々だったカテゴリーが一つになり県大会BEST16を目指します。





全員が努力しその中で大人として成長していける部活を、またサッカーでも結果が残りの、たくさんの人から応援されるような部活である様に頑張っています。



バスケットボール部(男子)

【顧問】前川 進也

豊永 真美

遠藤 慶明



男子バスケットボール部は、現在部員十六名で活動しています。平日は、女子部と一緒に体育館のコートそれぞれが半分ずつ使っています。基礎的な練習を中心にしています。女子部と話し合いをしてコート一面を使って練習をする際は、ゲーム形式の練習や走力を向上させる練習を中心に行っています。

休日には、技術の向上や改善点の発見を目的として、県大会常連校や地区レベルのチームと練習試合を行っています。八月には長野県に遠征をして、他県のチームと交流試合を行いました。他県の高校との試合は選手達にとって良い刺激となり、多くの事を学ぶ機会にならたと感じています。また、東海学園高校で三日間の合宿を行い、技術の向上はもちろんのこと、集団行動の大切さを学び、心身共に個人として、またチームとして、一段と成長したように感じています。今後十月に全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会愛知県大会、一月に新人戦大会を控えています。組み合わせ抽選の運も味方にして、必ず県大会へ出場すると強い意思を持って頑張っていきたいと思っています。



バスケットボール部(女子)

【顧問】矢野 好明

清水 大介



私たち女子バスケットボール部は一年生四人、二年生四人の八人で活動しています。練習は主に、基礎練習を中心とした個人の体力や技術の向上、ゲーム形式を中心としたセットプレーの練習を行っています。

部活動は週六日間活動しており、土曜日、日曜日には他校との練習試合をしています。人数は少ないですが、一人一人が高い意識を持ち、チームの一員としての自覚、役割を理解し、毎日の練習に一生懸命に取り組んでいます。大会では、試合でも多く勝利できるように頑張っています。これからもバスケットボールを通して、スポーツの楽しさや礼儀、達成感を体験させ生徒の人生において、良い影響を与えられるように指導していきますので、応援よろしくお願いします。



柔道部

【顧問】佐々木康治

金田 進作



柔道部は今年度、新たに二年生男子が九名、女子二名が加わり、計二十二名で毎週月曜日から金曜日までの週五日間、二日三時間程度活動しています。部活動報告といたしましては、四月に行われた県大会予選において男子団体はあと二歩のところ、県大会出場を逃しました。女子団体は四位で県大会出場を決め、五月の県大会ではベスト16まで駒を進めることができました。また八月に行われた名古屋南学年別選手権大会において、五名(男子三名・女子二名)が三位に輝きました。少しずつではありますがありますが、大会において結果を残すことが出来るようになりました。私が柔道部の指導者として掲げる目標は柔道の厳しい稽古を通して生徒の人間教育を行うことです。厳しい稽古を乗り越えることにより、苦しいことに立ち向かう強い精神力、忍耐力を身に付け、日本及び国際社会において活躍できる優秀な人材を育て上げたいと考えております。部員が三学年合わせて二十二名となり、柔道場は毎日活気に溢れています。部員同士大変仲が良く、お互い励まし合いながら、楽しく柔道に取り組んでいます。また部員全員が真面目にトレーニングや組み、自ら積極的にトレーニングや技の研究を行っており、日々彼らの成長を感じることが出来ます。今後の活動がますます期待できる生徒ばかりです。柔道部は、怪我に気を付け楽しく柔道を三年間続けること、有段者の証である黒帯取得することを目標に掲げています。またそれと共に、県大会上位進出、憧れのインターハイ・東海大会出場、憧れの大きな目標として一生懸命指導に取り組みんでいきたいと思います。





ハンドボール部

【顧問】日野 隆徳

鈴木 準平



私たちハンドボール部は、今年度一年生が十名加わり、二年生九名と合わせて十九名の部員で毎週月曜日から金曜日までの五日間、二日三時間程度で活動しています。また、休日には他校との練習試合を積極的に行い、個々の技術やチームの連携を高めています。ハンドボールという競技は、七人で、試合は二十五分ハーフで行われます。コートはバスケットコートよりも大きいサイズで行います。ルールは、ドリブルやパスの様にボールを回し、フットサルと同様のゴールに



投げ入れる。醍醐味は何と云ってもシュートシーンとスピード感溢れる試合展開です。激しく体をぶつけあい、ディフェンスをかき分け、ゴールを狙う。エキサイティングなプレーは一度体験すると必ず虜になります。今年度はチーム力や個々の技術力が向上し、各大会で二回戦突破をすることができるようになりました。ほとんどの部員が高校に入学してからハンドボールを始める生徒ばかりです。各自が高い意識を持って日々の練習に励んでいるので、今後も今以上の成績を残せるよう、チームとして、個人としてさらに向上できるように、日々練習を重ねていこうと思います。限られた時間、練習環境で各自が質の高い練習をすることが大切です。

卓球部

【顧問】水野 敏伸

大島 律

佐藤 健一



まだまだこれからのチームですが、共に汗を流し、お互いがライバルとして日々の練習に励み、県大会出場を目標に頑張っていきたいと思えます。

卓球部は、本年度、多くの一年生が入部し、例年以上に活気ある中で日々の練習に励んでいます。練習内容においては、基礎練習を中心に行い、また試合形式の練習を行うことにより、個々の卓球技術の向上を目指しています。卓球部は、小学校から卓球を続けている経験者もいますが、高校に入ってから卓球を始めた初心者もいます。それぞれがアドバイスをしながら、試合で二回でも多く勝つという目標を目標に日々練習に励んでいます。その結果、六月、七月には、名南選手権の予選に勝ち、県大会に出場し、さらには長野県で行われた中部日本卓球選手権大会に出場しました。そして、夏季新人大会でシングルス優勝、秋季新人大会でも二人がシングルスにおいて優勝しました。特に八月十九日に日本ガイシスポーツプラザで行われた市民スポーツ祭においては、三位入賞という団体戦ですばらしい結果を残しました。試合に出ない生徒も先輩のため、チームのために大きな声を出して応援していました。

例年以上に公式戦に出場する中、残念ながらも一回戦で負けてしまった生徒もいますが、努力の結果、優勝する生徒もいます。他校顧問からも「享栄卓球部は強くなっていますね。」という声をかけて頂き、今後もさらに活気ある卓球部として活動できるように練習に取り組んでまいります。



チアリーディング部

【顧問】吉田美貴子

松尾 崇広



今年度は、三学年が揃い、合計八人で活動をしていきます。今年も全国大会出場を目標に日々練習に取り組んでいます。チアリーディングという競技は、観ている人に「元気、勇気、笑顔」を届けるスポーツです。どのチームもチームワークを大切に、パワフルでスピード感あふれる「技」の数々を展開し、その正確性、完成度、難易度など細則に渡り、定められたルールに沿って競われます。六月には、中部チアリーディング選手権大会が行われました。新人生にとっては初めての大会です。生徒は一つ一つの技を習得し、自分たちで考え、話し合い、試行錯誤しながら練習に取り組んでいました。大会本番はとても緊張していましたが、堂々と自信を持って、競技時間二分三〇秒の最後まで、持ち前のチームワークあふれる演技をすることができました。残念ながら、全国大会への切符を手に入れることができませんでしたが、自分たちが目指していた完成度の高い演技をすることができました。次は、全日本チアリーディング選手権大会です。新しい技に挑戦し、更に成長した姿が見せられるように日々努力していきます。



吹奏楽部

【顧問】山林 唯



吹奏楽部本年度の活動  
 今年度の吹奏楽部は、新二年生、三年生合わせて二五名での活動が始まりました。四月と五月の新入部員勧誘期間に部員で力を合わせた結果、新たに十七名の二年生を迎えることができました。各学年の部員数が十名を超え、総勢四十名以上の部員になり活動が始まりました。残念ながら数名は辞めてしまいましたが三九名で活動できています。

例年同様、五月二〇日にPTA総会前のクラブ発表で新メンバーでの初の本番に臨みました。同日の夜には、同窓会総会懇親会前に演奏させていただきました。毎年演奏の機会を与えていただきとても感謝しています。夏のコンクールに向けては、昨年長い銅賞の道から脱して銀賞を獲得した流れを引き継ぎ、練習を重ねました。また同時期には硬式野球の応援も例年以上に力を注ぎ演奏しました。コンクールの結果は、全日本吹奏楽コンクール、中部日本吹奏楽コンクール共に「銀賞」を獲得することができました。二つのコンクールで両方銀賞を獲得したことは平成一九年度以来で十年振りでした。

コンクール後には今年も長野県根羽村にて夏合宿を行いました。今年も、根羽村教育委員会から演奏会の依頼をいただきました。一週間足らずの限られた時間で、しかも季節外れの台風の影響もありましたが、精いっぱい準備し練習を行いました。九十分間の演奏会を催すことができました。当日は根羽村の村長、教育長はじめ多くの村民の



方々にご来場いただき、とても素晴らしい演奏会になりました。仲間の絆を深め、とても思い出に残る合宿を行うことができました。

二学期以降も、九月の享栄祭での演奏を始め、「名古屋シテイイン デイマラソン」「私学連合音楽祭」「栄街じゅう音楽広場」「吹奏楽フュスチバル」などの多くの演奏の機会に恵まれています。

三学期は二月四日(日)瑞穂文化小劇場にて「第二十五回記念定期演奏会」を予定しています。第二五回記念として、多くの吹奏楽部卒業生と共に演奏する機会になればと願っております。

今後とも暖かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

写真部

【顧問】佐伯 樹弘



【顧問】藤田 夢実



今年度は三年生二名、二年生九名、一年生六名の計十七名で活動しています。昨年度と同じく、週三回の活動日で、上級生が下級生に自分が学んだことを伝えていくという今年の形が出来上がってきました。

今年度の目標は、昨年度同様に様々な写真展に出品できるように取り組んでいます。一年間の部のテーマとして、四季の変化を写真に収めることができるように活動しています。

学校行事の際にも校内の活動がアピールできるように撮影を行い、ホームページや文化祭でその様子を展示できるようにしていきます。

日々の活動では、各自が撮影した写真や、パソコンで画像編集ソフトを使用し、編集をしたりしています。スマートフォンのカメラ機能の向上により、生徒達も手軽に良い写真を撮る事ができるようになりました。昨年度は写真展で入賞することができなかったため、今年が入賞を目指し、良い作品ができるように努力をしています。

理科部

【顧問】佐川 貴之



近藤 義高



加藤 清香



今年度、理科部は一年生が多く入部し、昨年までの八名から二十四名へ大幅に増加しました。これまでの少人数とは異なり、今までのように活気があふれる活動ができるようになりました。昨年度より「食材と化学」をテーマの中心にして実験観察を行っています。二学期には、電気パンや人工イクラの制作、紫キャベツを用いた液性による色の変化の観察、液体窒素を用いたアイスクリーム作りなどを行い、実験の基礎を学びながら活動してきました。二学期以降は「食材と化学」のテーマも生かしつつ、ミョウバンなどを用いた結晶作りや顕微鏡観察など、より幅広くいろいろな実験を取り入れていきたいと思えます。理科部とはいえず、部員は必ずしも理科の知識が豊富な訳ではありません。しかし、自ら考え、会議を行い、意欲的に活動を続けていきます。また、大人数になったのでこれまで以上に安全管理などにも気をつける必要があります。

今後も「身近なことに興味をもち安全に理科の面白さを学ぶ」ことを目的に理科部は、活動を続けていきます。



ワープロ部

【顧問】兼山 彰宏



宮下 宏明



稲熊 誠



ワープロ部は、現在、三年生六名、二年生七名、一年生六名の合計十九名で活動を行っています。

近年と比較して部員数は増えてきましたが、地道に活動し、全商ビジネス文書実務検定試験や文書デザイン検定試験の合格を目指して練習を重ねています。授業の先取り学習や上位の検定試験にも段階的に挑戦できるように、達成感を味わいながら、目標に向かって前向きに努力しています。





今年度は商業科の授業が始まる前の一年生、始まったばかりの二年生も学期中に行われた検定試験に合格した生徒がおり、三年生も級に合格するなど順調に学習を進めております。主な活動内容は、コンピュータの基本的な操作に慣れより速く、正確な入力方法を身に付けるためタイピングの練習をしています。制限時間内により多くの文字を入力しなければならぬので、ミスがないように集中して取り組むように心掛けています。

また、資格取得以外でもコンピュータを使いこなせるように楽しく活動をしています。数年前の先輩方は競技会にも出場されていたと聞いております。いずれは、再び競技会に出場できるようになることを期待しています。

今後とも目標に向かって日々の鍛錬を重ね、進路実現につなげる部員、本校におけるコンピュータに関する学習を牽引していく生徒が増えて欲しいと思います。

### 茶華道部

【顧問】栗田美穂子

阿部真寿美

香田 孝

安田 忠義

直江知恵美

服部友里花



茶華道部は、男子三名、女子二十三名の二十六名で活動しています。素敵なお茶室になつてから、四年を迎えています。年数を重ねることに多くの生徒に親しまれ、伝統という重みを感じられるようになりました。部員達も充実感や達成感を味わいながら練習に励んでいます。

練習成果を文化祭や土曜セミナーでご披露させていただきました。校外のお茶会にも参加しています。特に二月には、稲沢市にあります国府宮籬追殿において「なおい茶会」に参加し、貴重な体験をさせてくださいたいと思います。また、年に数回ではありますが、生け花や浴衣の着付けもあわせて活動しています。

これからもお稽古に励み、機会があれば多くのお茶会に参加しながら精進してまいりたいと思います。最後になりましたが、同窓生の皆様方へ来校時にはぜひお立ち寄りください。

### 美術部

【顧問】今枝 悦子

榊原 亜紀

市村 佳子



今年度の美術部は、創り出す喜びを多くの人と共有しようというテーマで取り組んでいます。普段は進学補習や検定対策と両立できるように、週三日の活動をしています。今年度からは本校で年五回行われるよう、週三日の活動をしていきます。今年度からは本校で年五回行われるよう、週三日の活動をしていきます。今年度からは本校で年五回行われるよう、週三日の活動をしていきます。今年度からは本校で年五回行われるよう、週三日の活動をしていきます。

を参加者にわかりやすく説明する方法を考へることや、作品の試作や準備に主体的に関わることを通じて、「伝える力」が付き、自信につながっています。講座当日には生徒や市民の参加者に喜んでもらえることがとても嬉しく、やりがいを感じています。近年、親子で参加できるものづくり講座への関心が高まっています。卒業後、企画する側、参加する側として活躍する卒業生に出会えることを期待しています。また、そぞろした卒業生からのアドバイスもぜひ、部員達に聞かせてあげたいと思います。機会がありましたらぜひよろしく、お願い致します。お待ちしております。

### 漫画研究部

【顧問】山本 和夫

宮本 章令



今年も久しぶりの出場をと臨んだ「第二十六回全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)」の出場は残念ながらありませんでした。審査をされる先生方が名古屋にお見えになった際に、いろいろアドバイスをいただきました。

また東京の専門学校で行う「クリエティブ甲子園」にも参加しておりますが、今年はいまぐれタイムが合わず作品が出せていません。腕を磨けるように、出品できる作品展を探し、チャレンジをさせていただきます。

今後とも部活動の中で、色々なコンテストに応募し、腕を磨いてレベルアップを図り、再度の「まんが甲子園」出場に向けて努力をしていきたいと思っております。





剣道同好会

【顧問】直江 崇

朝川 翔平



今年度、剣道同好会は新一年生を迎えて男子十一名、女子二名の計十三名で活動しています。

活動は、平日の放課後と土曜日の午前中に行っています。名古屋市内の学校が合同で行う強化練習会にも積極的に参加し、他校の練習風景や様子などを見て、それを本校に持ち帰り、自分たちの練習に活かせるよう試行錯誤しています。

春の総体予選では男子団体戦、個人戦ともに回戦敗退という結果になってしまいました。新一年生にとっては他校の三年生に挑戦する貴重な経験となり、新チームの発足から新たに目標を掲げて努力している生徒ばかりです。新チームは二年生三名が一年生をしっかりとリードし、良いチームになりつつあります。

夏休みは体力作りや徹底した基礎練習を中心としたメニューで力をつけ、愛知県工業大会では初めて三位入賞という結果を残すことができました。新チーム発足からの練習に手応えを掴むとともに、九月中旬に行われる愛知県私学祭大会に向けて課題も見つかっており、現在個々のレベルアップを図って日々の稽古に励んでいます。

例年にないほど部員が増え、レギュラー獲得に向けて、生徒は個々に高い意識を持って稽古に励んでおり、指導にも力が入る日々を送っています。力がついてくるにつれて次の試合が待ち遠しくなり、部員たちのモチベーションも上がっています。他校との合同稽古や練習試合も秋から冬に向けて積極的に

的に組んでいく予定です。部員のモチベーションに高められるよう、今後も顧問二名精一杯指導に取り組んでいきたいと思えます。



図書同好会

【顧問】田中 邦彦

村田 好陽

石田 梓

成瀬 龍治

中野友美子

西山 悟史



この一年間は、夏に読書感想文を三枚、冬に五枚を取り組んでみました。さらに、夏の三枚は、ワープロ

に打って、皆で読み合わせをしました。公開処刑だと、悲鳴もありましたが、成果は出たと感じます。そして、冬の作品の中から、私学読書感想文コンクールに四名を出品。(全員ダメでした。)

意欲を持って、取り組む人も出てきました。

新入部員は六名が入りました。今年も、ラベル貼りなど、基本的作業をこなしながら、仕事の無い時は小論文の練習に、ほぼ毎日一枚程度書く様になっています。



ダンス同好会

【顧問】中道 剛



ダンス同好会は、三年生五名、二年生十五名、一年生二十名の合計四十名で活動しています。活動日は月曜から金曜までの授業日、活動場所はFアトリウムです。毎日忙しい日常の状況でも、精力的に活動しています。

さて、今年度の状況についてご報告させていただきます。学校内では「文化祭」「予餞会」などの学校行事、また「PTA総会前のクラブ発表」でもお世話になっております。学校外では各種ダンスイベントの発表へ参加するという活動をしています。



学校外では発表する機会が少ないのと、条件が合わず発表することができないというところもあり、更なる発表する機会が増えるようにと考えています。なお、大きな大会等に出場したことがないので、そういう機会があれば参加したいと考えています。

次に、在籍している生徒の様子ですが、練習に工夫を加え、独自の練習スタイルを確立しています。ダンスの事を詳しく知らない人から見ると「遊んでいるの」「何の練習」という疑問がわくかもしれませんが、生徒たちは考えて練習メニューを組み立てています。また、メンバー相互の意思疎通を計るべく、コミュニケーションをとりながら、様々なパリエーションを創りだし、新たなダンスパフォーマンスができる人であると期待しています。そういう事を考えていくと、今後が楽しみです。

最後に、ダンス同好会に在籍している生徒たちは、素直で心優しい性格の人が多いですが、まだ自分に甘い部分もあるように見受けられます。現状に満足することなく、更なる向上心を持って、取り組んで欲しいと願います。今後ともダンス同好会をよろしく願います。

合唱同好会

【顧問】吉田 衣里

上田 達也

田畑 伸晃

富田 美紅

林 香里



合唱同好会は一年生十九名、二年生四名、三年生六名の二十九名が所属し、共に合唱を楽しんでいます。週に二度、月曜日と木曜日に集まり活動を行っています。活動日以外に自主練習を行っている生徒もいます。文化祭や予餞会等の学校行事に参加し、日ごろの練習の成果を発表しています。

数年前と比べると人数も増えてきました。そのため、パート練習を充実させ、丁寧に歌うことを心がけています。合唱を経験したことがある生徒が増えてきたため、生徒同士がお互いにアドバイスしながら合唱を作り上げていくことができるようになりました。

現在練習しているのは第七十三回NHK全国学校合唱コンクールで課題曲となっていた、森山直太郎の『虹』という曲です。中学校で歌ったことがある生徒も多く、曲や歌詞を大切にしながら歌っています。高音を美しく出すことが難しいため、パートにも苦戦しています。文化祭までに完成させ、人を感動させられる歌声をお届けしたいと練習に励んでいます。



合唱同好会の目標は、ボラン  
ティアやコンクールなど、学校の外  
で合唱を発表することです。合唱  
の上手さでは、まだまだ伸びしろ  
もある生徒たちですが、歌うこと  
の楽しさはよく知っています。  
歌うことの楽しさを  
合唱同好会のメンバーと  
共有し合う、  
だけでなく、  
発信していけるような同  
好会へと成長  
していきたい  
です。それが  
できるように  
なるために、  
日々の練習に  
も一層力を入  
れています。

### アーチエリー同好会



【顧問】杉浦 俊也

青山絵美子

竹内 遙亮



今年度、アーチエリー同好会は  
創部八年目となりました。六月に  
は三重県で行われた東海高等学  
校総合体育大会に、部員一名が出  
場を果たしました。惜しくも全国  
高等学校総合体育大会への出場は  
できませんでしたが、今後もより  
良い結果が残せるように、顧問と  
部員たちが一丸となって目標に向  
かって進んでいきたいと思えます。

現在、三年生は引退をし、部員  
は二年生八名、一年生四名、合計十  
二人で活動しています。新チームが  
始動し、まだまだ未熟な点があり  
ますが、部員一人一人が「強くなりた  
い」という気持ちを持ち、日々の練  
習に一生懸命に取り組んでいます。  
八月には長野県で東海学園高等  
学校との強化合宿や合同練習に参  
加し、様々な経験をさせて頂きま  
した。部員たちはこの経験を通し  
て、アーチエリーの技術だけでなく、  
挨拶や礼儀などの人として大切な  
精神も成長できたと思います。  
これからも部員全員が高い目標  
を持ち続け、「享栄高等学校アー  
チエリー部」と  
して認められ  
るように、ま  
た、全国高等  
学校総合体育  
大会出場とい  
った素晴らしい  
結果が残せる  
ように、チーム  
丸となつて頑  
張っていきま  
いと考えており  
ます。今後と  
も応援を宜し  
くお願い致し  
ます。

### 情報処理同好会



【顧問】大矢 貴子

近藤真紀子

片山 一成

山田 秀和



情報処理同好会は二年生が二十  
三名、一年生が九名、三年生が十  
名の合計四十二名が活動していま  
す。活動内容は情報処理検定の部  
門のうち、表計算(エクセル)検定の  
合格を目指して取り組むこと  
です。  
また、表計算以外にも、タイピン  
グ練習やワードなど、自分のスキル  
を上げるための練習なら自由に取  
り組んで良いことにしています。  
パソコン好きな生徒が週に二回  
集まり、和気あいあいとした雰  
気で活動しています。  
お互いが切磋琢磨して、検定試  
験の上級合格を目指して頑張っ  
ています。

### 情報技術同好会

【顧問】松本 亮一

山田 篤志

佐伯 樹弘

青山 昂平



情報技術同好会は、もともと機  
械実習部として発足し、金属加工  
を中心として物作りの活動をして  
おりました。  
十五年程前、東海地区アイディ  
アロボット競技大会出場を契機に  
総合的な活動を目指し、情報技術  
部へと部名を変更しました。  
当時、競技大会に向けて連日遅  
くまで活動し、競技大会前日には  
保護者の方から夜食の差し入れを  
して頂き、大変ありがたかった思  
いもあります。  
競技大会の成績は振るいません  
でしたが、「与えられた課題を工



夫と技術で乗り越えていく」とい  
う情報技術部の原点が育まれた  
時期でもありました。  
その後、部員数の減少とともに  
部から同好会へ降格されるなど低  
迷が続きました。さて、現在の情  
報技術同好会は、四名の顧問体制  
となり、それぞれの知識を持ちよ  
り、活動しています。  
また、活動のフィールドも広が  
り、新しい競技大会にもチャレンジ  
するようになりました。また、部  
員も二年の石黒君を部長に据え、  
個性豊かで個々がこだわりの集団  
となつています。普段の活動は物作  
りに必要な旋盤や溶接の練習を  
しています。  
大会が近くなると喧々諤々の話  
し合いのもと設計図を完成させて  
試作とテストを繰り返します。  
今年度は、「ソーラー&人力ポ  
トレース全日本選手権大会」に出  
場し、人力ポートクラスで準優勝  
することが出来ました。  
一時、廃部の危機もありました  
が、完全復活し、機械実習部から  
続く伝統を今も繋いでいます。

### 簿記同好会

【顧問】今井 悠斗

安藤 孝将



簿記同好会は、現在三年生七  
名、二年生四名、一年生八名、計十  
九名で活動を行っています。  
少ない部員数で地道に活動し、  
全商簿記検定、全経簿記検定の合  
格を目指して勉強しています。授  
業の先取り学習や上級の検定試  
験にも段階的に挑戦できるので、  
達成感を味わいながら、目標に向  
かって前向きに学習に取り組んで  
います。

今年、二三年生とも、難易度  
の高い全商簿記検定に挑戦し、同  
好会の仲間と協力し、教え合いな  
がら、順調に学習を進めています。  
就職や進学  
に役立つ資格  
を取得するだ  
けでなく、簿  
記の勉強を通  
じて、経営や経  
済について学  
ぶため、商業科  
の生徒だけで  
なく、普通科  
や機械科の生  
徒にもおすす  
めです。  
今後とも目標  
に向かって学習  
を重ね、進路  
実現に繋げる  
部員、本校に  
おいて簿記の  
学習を牽引し  
ていく部員が  
増えて欲しい  
と思えます。



## 平成28年度 享栄同窓会事業報告書

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

月 日	摘 要	月 日	摘 要
4月 7日	享栄高等学校 入学式757名	2月22日	享栄高等学校 卒業式予行練習
4月14日	会計監査		細江会長より同窓会入会と奨学金について説明
4月23日	役員・常任幹事会 ローズコートホテル 17時		享栄高等学校 卒業式563名(名古屋市公会堂)
5月21日	役員・懇親会 ローズコートホテル 17時	2月23日	同窓会長賞贈呈 5名
7月下旬	享栄会報43号 原稿依頼		普通科 永島 龍 伊礼みなみ
1月20日	役員会 享栄会報ゲラ刷り読み合わせ		太田 力也 平岡 怜
1月31日	享栄会報43号 2,300部発刊 28部郵送		宮城 伊吹

## 平成28年度 享栄同窓会決算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

### 基本金の部 収入の部

科 目	金 額	摘 要
入 会 金	1,126,000	卒業生563名*2,000 = 1,126,000
受 取 利 息	7,604	
前年度繰越金	11,517,170	平成27年度から
合 計	12,650,774	

### 支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
次年度繰越金	12,650,774	平成29年度へ
合 計	12,650,774	

### 一般会計の部 収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	4,504,000	卒業生563名*8,000 = 4,504,000
協 賛 金	0	同窓会報広告掲載費
受 取 利 息	4,799	
總會参加費	184,000	
前年度繰越金	20,389,083	平成27年度から
合 計	25,081,882	

### 支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
記 念 品 費	409,320	総会・優良卒業生記念品購入費
会 合 費	162,025	役員会及び幹事会等
慶 弔 費	9,900	弔慰金、供花、卒業式祝花
消 耗 品 費	2,353	事務用品
手 数 料	526,894	振込手数料・データ変換費用等
印 刷 費	144,072	幹事会案内状・会報等印刷
通 信 費	94,102	幹事会・役員会案内状・会報等送送料
旅 費 交 通 費	6,660	
協 賛 費	24,400	享栄祭・同期会等協賛費
総 会 費	1,154,260	
奨 学 費	900,000	9名*100,000
広 告 費	4,320,000	中日新聞 全段広告(5/13)
次年度繰越金	17,327,896	平成29年度へ
合 計	25,081,882	

基本金会計繰越内訳		
三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普597241		8,410,165
ゆうちょ銀行 定期貯金		4,240,609
合 計		12,650,774

一般会計繰越内訳		
三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普594305		9,781,806
三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 定期1184858		4,206,890
ゆうちょ銀行 0085-5-57903		218,296
ゆうちょ銀行 定額		3,021,679
現金		99,225
合 計		17,327,896

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの享栄同窓会の決算を監査しましたところ、諸帳簿・証憑書類の事実と相違ないことを認めます。

平成29年4月14日

監査者 神谷新恵

下村真由美





## 平成29年度 享栄同窓会事業計画

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

月 日	摘 要	月 日	摘 要
4月 7日	享栄高等学校 入学式693名	1月中旬	役員会 享栄会報グラフ読み合わせ
4月14日	会計監査	1月中旬	享栄会報44号 2,300部発刊予定
4月23日	役員・常任幹事会 ローズコートホテル 17時	2月21日	享栄高等学校 卒業式予行練習
5月20日	役員・懇親会 ローズコートホテル 17時		細江会長より同窓会入会と奨学金について説明
7月下旬	享栄会報44号 原稿依頼	2月22日	享栄高等学校 卒業式 自校体育館

主な  
事業内容

- (1) 総会実施に関する事項
- (2) 享栄同窓会報発刊に関する事項
- (3) 成績優秀な卒業生に対して記念品贈呈に関する事項
- (4) 慶弔に関する事項
- (5) その他必要に関する事項

## 平成29年度 享栄同窓会予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

基本金の部  
収入の部

科 目	金 額	摘 要
入 会 金	1,176,000	卒業生588名*2,000 = 1,176,000
受 取 利 息	7,000	受取利息
前年度繰越金	12,650,774	平成28年度から
合 計	13,833,774	

## 支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
次年度繰越金	13,833,774	平成30年度へ
合 計	13,833,774	

一般会計の部  
収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	4,704,000	卒業生588名*8,000 = 4,704,000
受 取 利 息	5,000	
総会参加費	150,000	
前年度繰越金	17,327,896	平成28年度から
合 計	22,186,896	

## 支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
記 念 品 費	300,000	総会及び優良卒業生記念品購入
会 合 費	300,000	役員会及び幹事会等
慶 弔 費	150,000	香典、生花、御祝金等
消 耗 品 費	100,000	事務用消耗品費等
事 務 費	100,000	事務局人件費
手 数 料	600,000	振込手数料・発送諸費用
印 刷 費	250,000	会報・役員会案内状等印刷費
通 信 費	300,000	会報・役員会案内状等送料
旅 費 交 通 費	30,000	旅費
協 賛 費	50,000	文化祭・同期会協賛費
総 会 費	1,300,000	5月開催
奨 学 費	900,000	9名*100,000
予 備 費	1,000,000	
次年度繰越金	16,806,896	平成30年度へ
合 計	22,186,896	

※予算の流用又は予備費の支出については  
会長の決裁により行うことができるものとする。





10月8日(日)名古屋港ガーデン埠頭ポートハウスで行われたBRIDGE road to SENDAI 2017で本校3年 大脇 武君が見事にタイトルマッチを制し、DRAGON BOXING STADIUM DBSフェザー級のタイトルを戴冠しました。大脇君は、この日の為に8/5-8/8の4日間をタイ プーケットにあるシンパトジムで合宿を行い、聖地バングラスタジアムでの試合も3ROUNDでKOで勝利しています。

キックボクシング



スラックラインW杯 優勝 一幅5号のベルトで跳躍の美—  
9月18日長野県小布施町で開かれたワールドカップ(W杯)で本校3年細江樹君が優勝しました。同大会は幅5号の「ライン」と呼ばれるベルト上で飛び跳ねるなどして技の難易度や美しさを競うもので1分半の演技を2回行い、点数の高い方が記録となるもので「気持ちよく演技ができた」と喜んでいました。

スラックライン



大島選手

—大島選手1000安打達成—

4月30日に通算1000安打を達成した大島選手(平成16年卒)が試合前に連盟表彰を受けました。この日(5月27日)に母校である本校生徒600人が球団の招待を受けてナゴヤドームを訪れ、観客席から先輩の記録達成の祝福をしました。

同窓会事務局からのお知らせ

平成13年9月から享栄高等学校のホームページが開設された事はすでにご報告済みです。その中に享栄同窓会のホームページも開かれており、何時でも同窓会の情報に接する事が出来ます。また、享栄高等学校100周年記念冊子が事務局にあります。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。数に限りがございますので、ご希望の方はお早めにご連絡ください。

ホームページアドレス

<http://www.kyoei-h.ed.jp>

平成10年から享栄同窓会終身会員制度が設けられました。会則によって会費納入が一万円になった方は、終身会員に登録され、以後の会費納入が不要となりました。又平成10年以降の卒業生の方は、全員卒業時に終身会員として、一万円納入頂いております。

平成29年度  
享栄同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒 業 年 度
名 誉 会 長	長谷川 信孝	理 事 長
相 談 役	塩田 郁夫	昭 和 17 年
会 長	細江 利夫	昭 和 40 年
副 会 長	岩月 宏之	昭 和 36 年
〃	長谷川 翠(みどり)	昭 和 40 年
〃	西脇 いずみ	昭 和 42 年
〃	山中 庄吾	昭 和 47 年
〃	兼本 尚浩	昭 和 50 年
〃	植木 広次	昭 和 59 年
〃	畑中 清詞	昭 和 60 年
〃	富田 勝也	昭 和 63 年
〃	遠藤 隆一郎	平 成 2 年
〃	大林 順子	平 成 5 年
監 事	神谷 新恵	昭 和 35 年
〃	下村 眞由美	昭 和 42 年
事 務 局 長	南保 眞一	
事 務 局	尾前 敏雄	昭 和 45 年
会 計(事務長)	坂野 勝彦	

編集後記

第44号も皆様のご協力により、ここに発刊することができました。

今年、2018年は、本校では創立105周年を迎えます。ここ数年、若い先生方が数多く就任され、以前にも増して生徒の部活動への参加も多くなり校内は活気が溢れております。

同窓会としても本校の更なる飛躍と発展を願い、きめ細かく丁寧な教育で伸び伸びと夢と感動あふれる魅力ある学び舎へと期待しております。

これからも、ご支援の程お願いいたします。  
また、個人的に「同窓会報」をご希望の方は、事務局までご連絡ください。  
(同窓会事務局)